

受験番号

平成 25 年 度
第 134 回 簿 記 検 定 試 験

2 級

(午後 1 時 30 分開始 制限時間 2 時間)

模
範
解
答

(平成 25 年 6 月 9 日(日)施行)

採点欄	
第1問	

第 134 回簿記検定試験答案用紙

2 級 ①

商業簿記

受験番号

氏名

生年月日

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費 備品 固定資産売却損	50,000 250,000 20,000	備品 未払金	150,000 170,000
2	積送品 当座預金 手形売却損	308,000 199,200 800	仕入 現金 前受金	300,000 8,000 200,000
3	社債	9,820,000	当座預金 社債償還益	9,775,000 45,000
4	商品保証引当金	80,000	現金	80,000
5	受取手形	1,300,000	売上	1,300,000

第2問 (20点)

(1)

銀行勘定調整表

平成〇年3月31日

当座預金勘定の残高		(259,700)
(加算)	[①]	(20,000)
	[②]	(16,000)
(減算)	[③]	(22,000)
	[④]	(18,500)
銀行残高証明書の残高		(255,200)

※ []には、資料Ⅱにおける番号①～④を記入しなさい。
()には、金額を記入しなさい。

(2) 資料Ⅱ

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金	22,000	当 座 預 金	22,000
当 座 預 金	16,000	未 払 金	16,000

資料Ⅲ

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金	6,000	受 取 配 当 金	6,000
雑 損	500	現 金	500

※ 決算整理仕訳は、各行に1組ずつ記入しなさい。

(3)

現 金	当 座 預 金
173,300	253,700

受験番号

第 134 回簿記検定試験答案用紙

氏名

生年月日

2 級 ③

商 業 簿 記

採 点 欄

第 3 問

第3問 (20点)

精 算 表

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	19,300						19,300	
当 座 預 金	32,700						32,700	
受 取 手 形	416,800						416,800	
売 掛 金	327,200						327,200	
繰 越 商 品	384,000		450,000	384,000			400,200	
				13,800				
				36,000				
建 物	900,000		1,800,000				2,700,000	
備 品	300,000						300,000	
建 設 仮 勘 定	1,000,000			1,000,000				
の れ ん	240,000			30,000			210,000	
支 払 手 形		367,900						367,900
買 掛 金		382,300						382,300
保 証 債 務		3,000	3,000					
貸 倒 引 当 金		8,500		6,380				14,880
建物減価償却累計額		324,000		45,500				369,500
備品減価償却累計額		100,000		50,000				150,000
資 本 金		1,500,000						1,500,000
利 益 準 備 金		250,000						250,000
繰越利益剰余金		363,300						363,300
売 上		4,173,000				4,173,000		
受 取 家 賃		525,000	225,000			300,000		
仕 入	3,195,000			3,195,000				
給 料	839,000				839,000			
支 払 保 険 料	340,000			100,000	240,000			
保 証 債 務 費 用	3,000				3,000			
	7,997,000	7,997,000						
保証債務取崩益 (未払金)				3,000		3,000		
				800,000				800,000
売 上 原 価			384,000	450,000	3,129,000			
			3,195,000					
商 品 評 価 損			13,800		13,800			
棚 卸 減 耗 損			36,000		36,000			
貸倒引当金(繰入)			6,380		6,380			
減 価 償 却 費			95,500		95,500			
売上割戻引当金繰入			62,595		62,595			
売上割戻引当金				62,595				62,595
の れ ん 償 却 額			30,000		30,000			
(前受)家賃				225,000				225,000
(前払)保険料			100,000				100,000	
当期純(利益)					20,725			20,725
			6,401,275	6,401,275	4,476,000	4,476,000	4,506,200	4,506,200

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費		
月初棚卸高	(4,760,000)	
当月仕入高	(8,700,000)	
合 計	(13,460,000)	
月末棚卸高	(4,700,000)	(8,760,000)
II 直接労務費		(4,536,000)
III 製造間接費		
間接材料費	(431,000)	
間接労務費	(1,160,800)	
電力料金	(195,000)	
保険料	(410,000)	
減価償却費	(1,850,000)	
水道料金	(123,000)	
合 計	(4,169,800)	
製造間接費配賦差異	(87,400)	(4,082,400)
当月製造費用		(17,378,400)
月初仕掛品原価		(4,286,000)
合 計		(21,664,400)
月末仕掛品原価		(4,412,000)
当月製品製造原価		(17,252,400)

損益計算書

(単位：円)

I 売上高		42,580,000
II 売上原価		
月初製品有高	(2,416,000)	
当月製品製造原価	(17,252,400)	
合 計	(19,668,400)	
月末製品有高	(2,524,000)	
原価差異	(87,400)	(17,231,800)
売上総利益		(25,348,200)

(以下略)

第5問 (20点)

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して(① 貢献利益)を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。第1期の①は(② 1,100,000)円、営業利益は(③ 220,000)円である。一方、全部原価計算によると、第1期の売上総利益は(④ 700,000)円、営業利益は直接原価計算と同じである。

第2期の営業利益は、直接原価計算によると(⑤ 110,000)円、全部原価計算によると(⑥ 260,000)円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末棚卸資産に含まれる(⑦ 固定製造間接費)の分である。

仮に、第2期の製品生産量を3,000個とすると、期末製品在庫量は(⑧ 1,200)個に増える。このときの営業利益は、直接原価計算によると(⑨ 110,000)円、全部原価計算によると(⑩ 350,000)円になる。